

# あらぐさ



## 卒業式 学院長の言葉 学院長 内藤恵一

第35期生の皆さん、卒業おめでとうございます。これまで学生を支えてこられた御家族の皆様おめでとうございます。この日を迎えられる喜びは、またひとしおと お察し致します。

先日、2月14日に、苦難の国家試験も、つつがなく終了し、今は、ひと時の開放感を味わっていることでしょう。あとは、朗報を待つだけです。昨年、4月に41名でスタートした35期生は、一人も欠けることなく、今日の日を迎えることができました。本学院での授業・実習を通して実感したと思いますが、医療・看護の分野で学ばなければならない知識は、膨大で、臨床の現場は、時に過酷です。目の前の命のはかなさに涙したり、自分の無力さに自信を失ったり、将来像がえがけなくなったり、あれほど望んだはずの夢を諦めそうになることも、決して稀ではありません。それ故、今日、この日に、〔一人も欠けることなく〕卒業できたことは、これまでのあなた方の努力と研鑽の証であるが故に、賞賛に値するのです。

さて、4月からは、また、新たなスタートとなります。夢と希望と不安が入り混じっていることでしょう。臨床現場で、学びながら成長していくことは簡単なことではありません。しかし、あなた達の仕事は、日本中どこに行っても、活躍が期待され、そしてまた、やりがいのある仕事です。特に最初の1-2年間は、極めて重要ですので、どうか健康にも留意しながら、頑張りぬいて下さい。

ところで、今の日本は、残念ながら、平和と民主主義が脅かされています。その影響を受けるのは、社会的弱者である人々、すなわち、患者さん達です。皆さんは、これからは、社会人として、当学院で培った社会をみる広い視野で真実を見抜き、目の前の患者さんだけでなく世の中をよい方向に導くよう社会参加もして下さい。

卒業式という晴れの場に臨めるのは、あなた達の努力や研鑽だけでなく、支えてくれた御家族や、友人、教職員、県内の様々な医療機関で働き、生まれてよかったと思えるような国になって欲しいと懸命に働く医療人たちの存在があったことを忘れてはなりません。そして共立高等看護学院卒業生として誇りと確信を持って、歩まれますよう願っています。おめでとう!



## 4カ月実習をおえて-2年生



36期生は、10月から2月まで4ヶ月の長期の臨地実習を終えました。内科や外科、小児、障がい児保育園、生命の誕生に立ち会う母性等、様々な場面で看護の在り方を学ぶことができました。ペア実習では意見が異なり、仲間との関係に悩むこともありました。しかし、グループメンバーで助け合いながら実習を乗り越えたことで、これまで見ない仲間の一面を知る機会にもなりました。実習を終えた学生からは、「次はもっといい看護がしたい」「グループのみんなと助け合いながら頑張れた」という声が聞かれ、集団としても個としても実り多い実習になり、担任とし嬉しく感じています。

実習後は後期期末試験に挑み、更に3年次の春に行われるケースレポート発表会の準備を整え、最終学年に備えました。1年次より高いハードルがいくつもあった2年次ですが、この一年を乗り越えられたのは学生自身の努力と共に、ご家族の支えがあったからこそだと感じております。

4月から3年生です。クラスの仲間と、ともに学び合い成長する姿勢を大事にしながら充実した3年次になることを期待しています。看護学生として一回り大きく成長した36期生と今年も1年間一緒に学べたことに感謝しています。ありがとうございました。

2年担任 鈴木美緒

## 基礎看護学実習Ⅱをおえて-1年生

後期の期末試験を終え、無事2年次に進級できるか？という緊張感をそのままに、2週間の基礎Ⅱ実習に取り組みました。初めて行う病態生理の難しさ、初めて2週間で1人の患者さんを受け持つ責任感と緊張感、一人ひとり自分の課題にも向き合いながら、目の前の患者さんにどんな看護が必要かを考え続けました。実習後には解剖生理学演習に取り組み、グループでやり取りする中であらためて病態理解を深め、観察の根拠やフィジカルアセスメントの重要性を理解することが出来ました。4月に入学して早1年。看護学生として着実に成長している37期生。2年次にはより多くの実習や各論の授業が待っています。目の前の患者さんに何が出来るのか？を常に考えながら、1年次の学びを土台として37期生の仲間と支え合い、2年次も学び多い充実した1年となることを期待しています。

1年生担任 塩澤詩穂



災害看護学演習



解剖生理学演習



## 2年次の進級に向けて

1年生では、球技会や学園祭、キャンプなどイベントが盛りだくさんでクラスメイトと仲良くなる機会が多いです。私はクラス長を務めていましたが、一人一人の協力がなければうまくいかないことも多く、仲間の協力は常に必要だということを学んだ一年でした。テスト勉強でも協力して一緒に勉強することで辛いことを乗り越えられたと思います。

2年生は、これからもっと専門的なことを学び、患者さんに対しても様々な視点から見なければいけなくなると思います。1年生で学んだことを踏まえ2年生でより深められるように日々努力していきたいと考えています。

38期生の皆さんご入学おめでとうございます。

これから看護師を目指して新たに学ばなければいけないことが多くなってきます。患者さんとの出会いもあり、その中で不安や焦りも出てくると思います。私たちも新しいことに対して戸惑う毎日でした。しかし、共立高看は先生と距離が近いので不安なことをすぐに話すことが出来ます。また先輩方も一年生をやっているの先輩に聞くことも出来ます。なにかありましたら積極的に聞いていただくと優しく応えてくれると思います。

一緒に頑張っていきましょう。

37期生 入野寛人

新入生（38期生）を待つA教室



## 3年次の進級に向けて

4か月という長い実習も無事終了し、1人も欠けることなく4月から3年生に進級することが決まりました。入学当初に先輩方の春のケースレポート発表を聞いたときは、自分が先輩方のように発表する姿が全く想像できず、不安をおぼえた記憶があります。それでも今日まで頑張れたのは患者さんや先生方、そしてなにより36期の仲間が支えてくれたからです。実習では困っているときに一緒に悩んでくれたり、グループ学習ではわからないところを教え合ったりと、いつも一緒に歩んできました。3年生になると今まで以上にハードな実習や国家試験の勉強などで大変になるとは思います。36期の仲間とともに頑張っていきたいです。

36期生 熊谷莉佳

## 教職員離任の挨拶

副学院長 雨宮久子

### 看護学院は宝石箱でした

甲府盆地はスモモの白から主役の色が桜と桃のピンクに移り変わろうとしています。35期生は41名全員が看護師国家試験に合格し、心から晴れやかな笑顔で各地の病院へ飛び立ちました。まもなく看護を学ぶことをワクワクと待ち望んでいる38期生を迎える前にわたくしは40年近い職業人生に区切りをつけます。

この3年間は看護を学ぶキラキラと瞳の輝きがまばゆい若者たちと過ごすことができました。若さはじける笑顔や歓声にやや戸惑いながらもエネルギーが溢れ、とても充実した時間でした。

学院は1人一人の個性が輝く宝石箱。その石は可能性を秘め、未来にどのような輝きを放つだろうかと想像することも至福の時間でした。ある大学の理事長をされている渡辺和子先生のエッセイに「私は木を切るのに忙しくて、斧をみる暇がなかった」という一説があります。

目の前のことに無我夢中の毎日であったという間に40年過ぎてしまいました。今は少し自分の心身を労わってあげなければならないと思っております。

学生みなさん、ご家族みなさま、教職員みなさん、貴重な時間を共にしていただきましたことを心から感謝いたします。

(3月31日付退職)



### 専任看護教員 成島美里

看護師になった時、まさか自分が教員として母校で働くことになるとは思いませんでした。実習指導者を経て、教員1年目の頃は「なんだかピリピリした先生だった」と、当時担任だった卒業生から言われるような教員でした。きっと、学生に何かを教えなくては・・・と肩肘をはった姿勢だったのだと思います。でも、様々な学生や先生方との出会いで、「学ぶ人の主体性を大切にしたい教育」「学生と一緒に学ぶことの楽しさ」を知ることができたと感じています。在学生みなさんの卒業を見届けられないのは本当に寂しいですが、今後は臨床からみなさんの成長を応援したいと思っています。そしていつの日か一緒に働けることを楽しみにしています。若くキラキラした学生との時間は楽しく充実した日々でした。本当にありがとうございました。(4月1日付 甲府共立病院へ異動)



### 《おすすめの本》

#### 『被災者に寄りそう医療 震災最前線の絆』 稲光宏子著 新日本出版社

東日本大震災から5年が経ち、被災地から遠くに住む私たちの生活は日常が過ぎていきます。しかし、現在も東北では日常生活を取り戻せていない多くの方がいらっしゃいます。2016年3月1日現在、死者19418名、行方不明者2592名、岩手・宮城・福島県の3県から自県外に避難されている避難者数は50989名(総務省消防庁HPより)。5年が経った今でも仮設住宅に住む人は、39111戸82985名とのことです。(復興庁発表)。この数字を見るたびに、「決して忘れてはいけない」「現在もまだ復興が追い付いていない」と思い知らされます。この本は、災害直後から被災地で医療活動を行った民医連の医師や看護師、その他の医療従事者たちの活動の記録です。大変な時だからこそ、民医連の医療活動が人々に差し伸べたぬくもりを感じる1冊です。もちろん感動的なエピソードだけではなく、震災がもたらした新たな課題・被災地の人々の辛さにも触れた内容です。

この大震災を風化させないために。そして民医連の看護学校で学ぶ学生みなさんの学びに確信が持てるようにお勧めしたい1冊です。

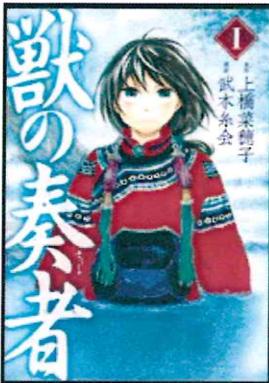


専任看護教員 中込英利香

共立高等看護学院で過ごした6年間、看護基礎教育の現場で仕事できたことは、私にとって貴重な経験でした。「看護」とは何であるのかを、学生とともに考え学ぶことは非常に興味深く、6年間はあっという間でした。学生1人1人が看護師(の卵)らしくなっていく姿に、人の成長し続ける力の素晴らしさを実感しました。これからは、学校の外から学生の皆さんの看護師(の卵)の成長を支えていきたいと思えます。6年間ありがとうございました。



《私がすすめるこの一冊》 『獣の奏者』 上橋菜穂子 講談社



ファンタジーですが、魔法も天使も悪魔も出てきません。でも、ファンタジーと侮ると痛い目にあいます。このお話は、1人の少女の成長の物語です。主人公は、自分が何者であるのかを問い、成長していく過程で自分の果たす役割を見出します。そして母親になり、子どもの成長を見守る中で大きな争いに巻き込まれます…。わかりやすい善人や悪者はできません。人間とは、権力とは、私たちを取り巻く社会のあり方について、登場人物を通じて深く考えさせられます。

物語の世界観に引き込まれてやめられなくなるので、読み始める時は注意が必要です。  
(4月1日付 甲府中央地域包括支援センター異動)

人事

退任

雨宮久子 (副学院長) 2016年3月31日 退職  
 中込英利香 (専任看護教員) 2016年4月1日 異動 (甲府中央地域包括支援センター)  
 成島美里 (専任看護教員) // 異動 (甲府共立病院)

新任

小泉京子 (副学院長) 2016年4月1日 甲府共立病院より  
 佐々木あゆみ (専任看護教員) // 石和共立病院より  
 三満田美恵 (教務補助・英語講師) //

父母の会より

■経過・予定

- 7月 ・2,3年生合同部会開催・2015年度第一回役員会
- 8月 ・原水爆禁止世界大会参加学生への補助  
 ・年度会費5000円納付通知発送
- 11月 ・1年生戴帽式 ナースウオッチ寄贈 式後学校と懇談
- 2016年
- 1月27日 ・3年生国家試験学習激励豚汁, 伊予柑, チョコ差入  
 ・2年生聖人記念実習激励図書券贈呈
- 3月4日 ・第35期卒業式 卒業記念図書券贈呈  
 ・2015年度第2回役員会
- 4月5日 ・2016年度父母の会総会 (入学式の日)
- 5月13日 ・雑草祭 (学院歳) 豚汁づくりと販売
- 7月26日 ・父母の会第1回役員会・2,3生部会 (学校報告, 懇談交流)

総会開催告示

2016年度共立高等看護学院父母の会年次総会を下記のとおり開催します。

会長 藺古田千草  
記

時 2016年4月5日 (火) 午後0時半  
 所 共立高等看護学院4階図書室  
 議事

2015年度事業報告・会計報告  
 2016年度事業計画・予算案  
 2016年度役員選出 以上

## 予定♪

- 4月 5日 38期生入学式  
7日 3年生ケースレポート発表会  
21日 1年生グループダイナミクスセミナー  
28日 学年対抗球技大会（緑が丘体育館）  
5月 13日 学院祭「雑草祭」  
16日 3年生実習  
6月 4日 学校説明会（高校生向け入試説明会）  
6日 2年生実習  
16日 1年生中間試験  
7月 4日 1年生実習  
12日 2年生労働体験（成人看護学演習）  
14日 社会福祉演習発表  
16日 保健体育キャンプ演習  
23日 夏季休業（～8月18日）  
29日 オープンキャンパス

## ◇ 教職員参加の研究・研修活動 ◇

- 1/9 e-Nurse セミナー「看護実践能力の評価」  
（中込・梶原・河野）  
1/14 山梨県看護協会「変わる！あなたの認知症看護  
認知症の病態生理他動向」（成島）  
1/29 山梨県看護協会「認知症の中核症状特徴とケアの  
ポイント-六角先生の認知症ケア入門」  
2/4 山梨県看護協会「各場面における認知症患者の  
援助、事例検討」（成島）  
2/20 山梨県民医連学術・運動交流集会  
「臨地実習中における学生の災害時行動の予測と  
学校の対策」（河西）  
「A 専門学校での社会福祉演習での学生の学び」（河  
野）  
「民医連看護研究倫理審査委員会における活動地  
才今後の課題」（押領司）  
「昔の遊び」を体験した看護学生の学び（成島）

## 消毒滅菌沐浴室リニューアル！



シンク拡大・シャワー機付自動温水蛇口設置(蛇口増加)。  
観察台設置により沐浴の技術及び手洗いの校内演習がよ  
り実践的に学べる環境となりました。給湯効率も向上し、  
明るく美しくなりました。

編集後記: 皆さんのお手元に届くのは4月になってしまいました。35期生は無事看護師国家試験に合格し巣立っていきました。  
多大なご支援にあらためて感謝いたします。新任教員の紹介は次号に掲載します。(M)